

カーボディマスター科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	3年前期	単 元	学 科	教科名	車体整備概論
科 目	法定学科	教科書等 持参品	日産車体整備士テキスト		発行日
			自動車整備技術 車体整備		
総時限	23				教科
総時間	36.8				担当
			2026年3月31日		
			上谷 晃一		
			濱村 和樹		

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

車体整備士として車体整備全般の実務経験がある教員により車体の構造と機能について指導する。

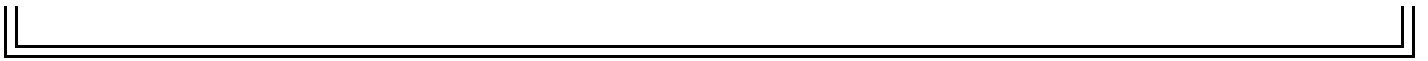
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）
1. 自動車の主要構造を理解する。
2. 自動車の車体材料を理解する。
3. 自動車の強度、力学の計算方法を理解する。
4. 乗用車の構造、機能を理解する。
5. トラック、バスの構造、機能を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）
1. 自動車の主要構造として、シャシとボデーについて理解する。
2. 自動車の車体の材料で使われている金属材料を理解する。
3. 車体材料の金属熱影響を理解する。
4. 鉄鋼材料の分類と機械的性質を理解する。
5. アルミニウムの分類と機械的性質を理解する。
6. 合成樹脂の共通性と種類を理解する。
7. はりの種類及び支点と反力を理解する。
8. 曲げモーメントとモーメント曲線を理解し自動車の荷重分布の計算方法を理解する。
9. 乗用車の種類・構造と機能を理解する。
10. H V , E V , F C V のボデーを理解する。
11. 儀装品の構造と機能を理解する。
12. トラックの種類、構造と機能を理解する。
13. バス・フレームの構造と機能を理解する。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可
・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習
・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと

6. 学修時間と単位
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。



カーボディマスター科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

[illegible]

※ 期末試験は授業時間に含まない